

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 8

2008年10月21日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「第22回東京ビジネス・サミット2008」に出展します
2. 「東海コンファレンス2008in静岡」のご案内
3. CIC東京 大学連合フォーラム「環境問題と大学の役割」のご案内
4. 「テクノサロン静岡2008」に出展します
5. 静岡大学「第7回アントレプレナー講演会」を開催します
6. スルガ銀行ビジネスセミナー「静岡でビジネス改革を考える」のご案内
7. 「メディカルイノベーションフォーラム2008」を開催します
8. しんきんビジネスマッチング第4回「ビジネスフェア2008」に出展します
9. 「第3回集積化RF MEMS技術講習会」（社会人向け）のご案内
10. 「JST Innovation Bridge CIC東京研究発表会」で発表します
11. 第2回フーズサイエンスセミナーのご案内
12. 「静岡大学生物産業創出推進拠点第19回研究会」を開催します

1. 「第22回東京ビジネス・サミット2008」に出展します

イノベーション共同研究センターでは、新商品・新技術・新サービスを介して中小企業の事業拡大を目的とした「東京ビジネス・サミット2008」の静岡県内企業150ブースで構成する“静岡夢街道”に出展します。

静大の研究シーズを活用して新たな事業展開への可能性を探りませんか。皆様のご来場をお待ちしています。

日時 平成20年10月21日（火）10：00～18：00
22日（水）10：00～17：00
場所 東京ビックサイト 東4・5・6ホール（東京・有明）
入場料 事前申込みにより無料（通常2000円）
詳細 <http://www.business-summit.jp/>
問合せ 静岡大学イノベーション共同研究センター
ベンチャー支援ネットワーク室 担当 鈴木
TEL 053-478-1713

2. 「東海コンファレンス2008in静岡」のご案内
～ 医用・生命科学の材料 ～

日時 平成20年10月24日（金）10：00～17：05
場所 静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館
主催 日本化学会東海支部
共催 静岡大学工学部、イノベーション共同研究センター
内容

1. 「RI トレーサー技術による生体イメージングへのアプローチ」
2. 「1,3-ジオキシン-4-オン誘導体の有機合成への利用研究」
3. 「ナノファイバを用いた医療用Scaffold材料の作成条件」

4. 「がんの撲滅を目指す医用材料」
 5. 「バイオ資源保存・運搬容器NIGカードおよびROISパックの開発と医用・生命科学の材料開発への応用」
 6. 「ナノテクノロジーを利用した診断薬材料」
 7. 「再生医療の現状と将来展望ー皮膚再生医療の産業化を通じて」
 8. 「埋め込み型肝組織再構築のための担体デザイン・三次元造形・前駆細胞育成」
 9. 「がんの分子標的治療薬の進歩-臨床の立場から-」
- 参加費 講演： 主催・共催・協賛・後援団体等関係者 3,000円
一般 5,000円、学生 無料
懇親会：一般 3,000円、学生 1,000円
- 定員 150名
詳細/申込 <http://www.ipc.shizuoka.ac.jp/~dtokai-c/>
問合せ先 「東海コンファレンス2008in静岡」実行委員会 担当 山下
TEL 053-478-1144

3. CIC東京 大学連合フォーラム「環境問題と大学の役割」のご案内

- 日時 平成20年10月29日（水）13：00～17：00
場所 キャンパス・イノベーションセンター東京（東京・田町）
内容
○基調講演「持続的な資源の活用に向けて
：消費者の立場からみた大学・企業への提言」
消費生活アドバイザー 辰巳 菊子氏
○パネルディスカッション パネリスト：静岡大学教授 鈴木款 他
○環境関連研究成果・取り組み事例のパネル展示
- 参加費 無料
定員 150名
URL http://cic-hp.zam.go.jp/tokyo/detail.php?pub_id=113
問合せ先 静岡大学東京事務所 担当 酒井
TEL 03-5440-9066

4. 「テクノサロン静岡2008」に出展します

この会は、新産業創出を目指した産学官連携、異業種間の交流を目的として、業種を超えた産学官の人的ネットワークづくりを促進するために行うものです。

- 日時 平成20年11月5日（水）13：00～17：10
場所 静岡グランドホテル中島屋4階（静岡市葵区紺屋町3-10）
プログラム
○講演「世界市場を目指す茶の高付加価値化戦略」
○研究成果発表 (株)エイディーディー、(株)マルヨシ、三鷹光器(株)
○表彰（科学技術振興の功績者）
○講演「液晶事業と亀山工場～勝ち組戦略に学ぶ～」
※ 研究成果展示会も同時開催します
- 交流会 17：30～19：00
参加費 無料（交流会は会費5000円）
詳細 <http://www.ric-shizuoka.or.jp/mt/mokuteki/koryukai20000101-170.htm>
問合せ先 (財)しずおか産業創造機構新産業発掘チーム
TEL 054-254-4512

5. 静岡大学「第7回アントレプレナー講演会」を開催します
～デジタル製品市場の変化とイノベーション～

本講演会は、起業家精神を醸成するとともに、企業人としても果敢に新規開発事業プロジェクトに挑戦する意欲をもつ人材の育成を目的として行っています。

本年度は、静岡大学工学部OBで、現在(株)東芝の執行役常務 モバイルコミュニケーション社社長である岡本光正氏を講師に招き、「デジタル製品市場の変化とイノベーション」と題して、デジタル技術の進化に伴い商品やサービスが溢れかえる時代の中で、新しいビジネスチャンスをつかむために不可欠なイノベーションのあり方について講演いただきます。

講演後に講師を囲んだ交流会も開催する予定ですので、多くの皆様の受講をお待ちしています。

日時 平成20年11月6日(木) 15:00～16:50
場所 静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館 会議室
対象 在校生、卒業生及び浜松地域中小企業・ベンチャー企業経営者等
受講料 無料
主催 静岡大学イノベーション共同研究センター
問合せ先 静岡大学 イノベーション共同研究センター
ベンチャー経営支援部門 ベンチャー支援ネットワーク室
TEL 053-478-1713 FAX 053-478-1719

6. スルガ銀行ビジネスセミナー「静岡でビジネス改革を考える」のご案内

日時 平成20年11月9日(日) 13:00～16:00
会場 ホテルセンチュリー静岡 (JR静岡駅南口徒歩1分)
主催 静岡県立大学地域経営研究センター
内容 ○米国バイオベンチャーの創生そして現在-自らの体験から-
スタンフォード大学ビジネススクール理事 金子恭則
○考える力を磨く-戦略的思考と社会システム・デザインの考え-
(元)マッキンゼー・アンド・カンパニー東京支社長 横山禎徳
参加費 無料
定員 250名
詳細/申込 <http://crms.u-shizuoka-ken.ac.jp/seminar/>
問合せ先 静岡県立大学地域経営研究センター
TEL 054-264-5400

7. 「メディカルイノベーションフォーラム2008」を開催します

日時 平成20年11月10日(月) 10:00～19:00
場所 浜松名鉄ホテル3階 松の間
主催 浜松地域テクノポリス推進機構、静岡大学、浜松医科大学
豊橋技術科学大学、JSTイノベーションサテライト静岡
内容 ○基調講演
「幹細胞医学の現状と未来：その応用の社会的インパクト」
京都大学 物質-細胞統合システム拠点 拠点長
再生医科学研究所付属幹細胞医学研究センター長教授 中辻憲夫
○医工連携ベンチャー企業の紹介
「再生医療産業化の現状～培養表皮の製品化を目指して～」
(株)ジャパン・ティッシュエンジニアリング 取締役 島賢一郎
○産学連携実用化事例紹介

「近赤外光を用いた運動中の脂肪燃焼モニターの商品化」
静岡大学工学部電気電子工学科 准教授 庭山雅嗣
(株)アステム CEO 鈴木光

他に、研究開発ニーズ/シーズの紹介 など

参加費 無料 (懇談交流会は会費3000円)
詳細/申込 <http://www.hamatech.or.jp/MIF2008/>
問合せ先 (財)浜松地域テクノポリス推進機構
TEL 053-489-8111

8. しんきんビジネスマッチング第4回「ビジネスフェア2008」に出展
します

日時 平成20年11月12日(水) 10:00~17:00
場所 ポートメッセなごや 第3展示館、イベント館
入場料 無料(入場券が必要です)
出展数 約450社
主催 東海地区信用金庫協会
後援 国立大学法人静岡大学 他
内容 ○企業展示会コーナー
○個別商談会コーナー
○第4回産学官連携ビジネスコーナー
○産業クラスター計画関連コーナー
詳細 http://www33.ocn.ne.jp/~shinkin_tokai/fair2008/index.html
問合せ先 静岡大学イノベーション共同研究センター 担当 岩澤
TEL 053-478-1669

9. 「第3回集積化RF MEMS技術講習会」(社会人向け)のご案内

日時 平成20年11月14日(金)10:00~17:30
11月15日(土)9:00~16:40
場所 豊橋技術科学大学ベンチャービジネスラボラトリー
主催 とよはしTLO
内容 講義(演習含む)と実習
カリキュラム
I 高周波回路の基本的な考え方(伝送線路, スミス図表 他)
II 高周波回路設計の基礎(Sパラメータ, 増幅回路設計 他)
III 高周波スイッチIC設計の基礎
(アンテナスイッチIC, RFMEMSスイッチ)
IV 集積化RF MEMSスイッチ; プロセスと実習
(RFMEMS製造プロセス, MEMSスイッチ製作実習, 工程ツアー)
V 大学の研究紹介
(血液検査用マイクロチップにみるシリコンMEMSプロセスの実施例)
講師 豊橋技術科学大学 教職員 他
対象 高周波(マイクロ波) and/or MEMSが専門でない技術者
定員 15名
参加費 7万円(税込み, テキスト・昼食代含む) / 1名
申込締切 10月31日(金)
詳細/申込 http://www.dev.eee.tut.ac.jp/ishidalab/news/081114_2.pdf
問合せ先 豊橋技術科学大学 担当 原田
TEL 0532-44-1244

10. 「JST Innovation Bridge CIC東京研究発表会」で発表します

日時 平成20年11月18日（火） 10:30～16:30
場所 キャンパス・イノベーションセンター東京（東京・田町）
主催 （独）科学技術振興機構、静岡大学ほか
静岡大学の発表内容
●13:30～13:50 工学部 助教 富木政宏
「自己形成による光コンポーネントの作製」
●15:50～16:10 工学部 助教 吉田 始
「歯先と歯底での浸炭層厚さの差の少ない歯車成形」
参加費 無料（事前申込制）
詳細 <http://deainoba.jp/meeting/081118/index.html>
問合せ 静岡大学学術情報部産学連携チーム 担当 尾形
TEL 053-478-1667

1 1. 第2回フーズサイエンスセミナーのご案内
～地域資源の活用とビジネスの創出～

日時 平成20年11月28日（金）13:00～18:30
会場 焼津市文化センター 第1.2会議室
主催 （財）しずおか産業創造機構、焼津市
プログラム
○技術相談会 13:00～16:00
静岡大学・静岡県立大学・東海大学の産学連携担当者が対応
○講演会 13:30～16:45
1. 基調講演
「お茶と魚を食べれば認知症は怖くない」
女子栄養大学 栄養学部 教授 鈴木 平光氏
2. 地域発の食品素材
①「発酵食品の製造とポイント」
（前）株式会社鈴勝 研究部 次長 高頭 龍雄氏
②「かつお節とその活用法」
株式会社にんべん 研究開発部長 荻野目 望氏
○交流会 17:00～18:30
*フーズ事業の研究成果を応用した商品の試食もご用意します。
参加費 無料（交流会は会費3000円）
定員 65名
詳細/申込 <http://www.ric-shizuoka.or.jp/fsh/yaizufss.html>
問合せ （財）しずおか産業創造機構 新産業発掘チーム
フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト担当 土肥、安田
TEL 054-254-4512

1 2. 「静岡大学生物産業創出推進拠点第19回研究会」を開催します
～日韓連携国際シンポジウム～

テーマ ～グローバル化が進む生物産業～
「日韓の特徴を活かした機能性食品産業の連携を考える」
日時 平成20年12月19日（金）12:50～17:00
場所 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」
内容 講演、発表
問合せ 静岡大学イノベーション共同研究センター静岡オフィス 平岡
TEL 054-238-4631

ゴルフの聖地、セント・アンドリュースをご存じの方は多いと思いますが、そこから10分程のところにあるセント・アンドリュース大学物理天文学科の研究者と、以前、一緒に仕事をする機会がありました。

そこでは、物理の3つの分野に重点を置いて、基礎から応用までの研究が行われています。

私が一緒に仕事をした研究者は、マイクロ波の専門家ですが、彼が設計・製作した装置を活用するために、研究室には“ナショナルセンター”のタイトルが与えられました。これにより、その装置は、国内外の研究者に広く活用されるようになった上、ベンチャー企業から数億円で販売されるようにもなりました。

1980年代初期のサッチャー政権による大学改革から30数年経過した今日、伝統的な学問の府での新たなチャレンジを垣間見る思いです。

(記：中村 高遠)

《 編集後記 》

今月9日、本学はヤマハ発動機株式会社と包括連携協定を結びました。

静岡大学は、これまで地域の活性化を目的として、このような協定を10の自治体や企業と結んでおり、包括協定はスズキ㈱に続いて2社目です。

ヤマハ発動機㈱は地元企業ということもあり、これまでも共同研究等の産学連携活動を行っていましたが、これまで築いてきた関係を更に広めて、両者の強みをより発揮する形とするため、今回、協定を締結する事になりました。

イノベーション共同研究センターは、本協定に基づく企画を事務局として推進していきます。この新しいコラボレーションから何が生まれるのか。どうぞご期待ください。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・購読中止のご連絡は、sangakukoho50cjr.shizuoka.ac.jp までお願いします。(↑送付の際は〇欄に@を入れてください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター

編集：原典子

編集責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL053-478-1414

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

by Copyright(c)2008-2009 Innovative Joint Research Center,
Shizuoka University. All rights reserved